

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	近畿財務局長
【提出日】	2020年10月13日
【四半期会計期間】	第17期第2四半期（自 2020年6月1日 至 2020年8月31日）
【会社名】	株式会社スタジオアタオ
【英訳名】	STUDIO ATA0 Co., Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 瀬尾 訓弘
【本店の所在の場所】	兵庫県神戸市中央区御幸通八丁目1番6号
【電話番号】	078-230-3370（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部ゼネラルマネージャー 山口 敬之
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区銀座三丁目10番9号
【電話番号】	03-6226-2772（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 管理部ゼネラルマネージャー 山口 敬之
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第16期 第2四半期連結 累計期間	第17期 第2四半期連結 累計期間	第16期
会計期間	自2019年3月1日 至2019年8月31日	自2020年3月1日 至2020年8月31日	自2019年3月1日 至2020年2月29日
売上高 (千円)	2,407,683	1,852,318	4,142,804
経常利益 (千円)	538,288	205,056	789,225
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益 (千円)	373,362	128,257	540,108
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	373,362	128,257	540,108
純資産額 (千円)	2,274,839	3,022,772	2,442,401
総資産額 (千円)	2,977,937	4,404,787	2,988,744
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	29.49	9.79	42.55
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	28.96	9.69	41.90
自己資本比率 (%)	76.4	68.6	81.7
営業活動によるキャッシュ・フロー (千円)	355,029	74,101	744,226
投資活動によるキャッシュ・フロー (千円)	110,678	4,351	118,398
財務活動によるキャッシュ・フロー (千円)	51,302	818,804	107,408
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高 (千円)	1,587,772	2,653,495	1,913,143

回次	第16期 第2四半期連結 会計期間	第17期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2020年6月1日 至2020年8月31日
1株当たり四半期純利益 (円)	11.34	7.19

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っておりますが、第16期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

#### 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。また、当社グループは、ファッションブランドビジネス事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、世界的な新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う経済活動の停滞や縮小等により、企業収益や個人消費が急速に悪化しております。当社グループの主要な関連業界である百貨店等を含む小売業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による外出自粛や商業施設の休業、時間短縮営業等の影響により経営環境が悪化しており、今後の見通しについても不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社グループは、「ファッションにエンタテインメントを」を理念とし、オリジナルバッグ・財布等の提供を通じて「お客様に非日常のワクワク感を提供すること」を目指し、資金調達等による財務基盤の強化を図りながら、引続き販売促進費への投資やSNS活動の強化等を行っております。また、キャラクターブランドであるILEMERのブランド価値向上のための投資を強化し、サプライズ・ハッピードール等の商品拡充を図るとともに、タレントを起用したプロモーション等を実施しております。併せて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、ILEMERブランドの子供用布マスクを無料配布する活動を行っております。

その結果、当第2四半期連結累計期間の販売業態別の売上高は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う約2カ月間の全店舗の臨時休業や消費者の外出自粛等の影響により、店舗販売が496,620千円（前年同四半期比52.6%減）となり、ATAOブランドに係る販売促進費の効率化を図った一方、ILEMERブランドの積極的な販売促進費の投資による売上拡大等の影響によりインターネット販売が1,312,707千円（同1.3%増）となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が1,852,318千円（前年同四半期比23.1%減）となり、売上高の減少及びILEMERブランドへの積極投資等により、営業利益206,782千円（同61.6%減）、経常利益205,056千円（同61.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益128,257千円（同65.6%減）となりました。

#### 資産の部

総資産は4,404,787千円であり、前連結会計年度末と比較して1,416,043千円増加しております。主な増加要因は、現金及び預金が740,352千円、長期前払費用が437,283千円増加したことであり、

#### 負債の部

負債合計は1,382,015千円であり、前連結会計年度末と比較して835,673千円増加しております。主な増加要因は、長期借入金723,302千円増加したことであり、

#### 純資産の部

純資産は3,022,772千円であり、前連結会計年度末と比較して580,370千円増加しております。主な増加要因は、資本金が257,931千円、資本剰余金が257,931千円、利益剰余金が64,508千円増加したことであり、

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、2,653,495千円となり、前連結会計年度末より740,352千円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは74,101千円(前年同四半期は355,029千円の収入)となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益201,863千円による資金の増加、売上債権の増加額193,205千円及び法人税等の支払額133,284千円による資金の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは4,351千円(前年同四半期比106,326千円の減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出3,008千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果獲得したキャッシュ・フローは818,804千円(前年同四半期は51,302千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の借入による収入1,000,000千円によるものであります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

3【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	48,000,000
計	48,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月13日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	13,857,000	13,857,000	東京証券取引所 (マザーズ)	単元株式数は100株 であります。
計	13,857,000	13,857,000	-	-

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日	1,107,000	13,857,000	257,931	389,136	257,931	379,136

(注) 当社は、2020年5月25日開催の取締役会決議により、2020年6月24日付で取締役に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式を発行し、発行済株式総数が800,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ186,400千円増加しております。また、同日開催の取締役会決議により、2020年7月31日付で従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての新株式を発行し、発行済株式総数が307,000株、資本金及び資本準備金がそれぞれ71,531千円増加しております。

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合 (%)
瀬尾 訓弘	兵庫県神戸市中央区	3,515,600	25.37
株式会社セブンオー	東京都中央区銀座6丁目13-16	2,300,000	16.59
黒越 誠治	兵庫県西宮市	1,230,000	8.87
株式会社九六	東京都渋谷区恵比寿4丁目20-3 恵比 寿ガーデンプレイスタワー27F	1,230,000	8.87
株式会社日本カストディ銀行(信託 口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	891,200	6.43
長南 伸明	東京都世田谷区	290,400	2.09
籠谷 雅	兵庫県神戸市兵庫区	245,000	1.76
日本マスタートラスト信託銀行株式 会社(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11番3号	172,600	1.24
山口 敬之	東京都世田谷区	139,000	1.00
住友生命保険相互会社(特別勘定)	東京都中央区築地7丁目18-24	116,800	0.84
計	-	10,130,600	73.11

(注) 1. 上記株式会社日本カストディ銀行及び日本マスタートラスト信託銀行株式会社の所有株式のうち、信託業務に係る株式数は、1,063,800株であります。

2. 2020年2月6日付で、シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社より当社株式に係る大量保有報告書が関東財務局長に提出されております。当該大量保有報告書において、2020年1月31日現在で同社が538,200株を保有している旨が記載されておりますが、当社として第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、その大量保有報告書の内容は次の通りであります。

大量保有者	シュローダー・インベストメント・マネジメント株式会社
住所	東京都千代田区丸の内1丁目8番3号
保有株券等の数	株式 538,200株
株券等保有割合	4.23%

3. 2020年8月4日付で、スパークス・アセット・マネジメント株式会社より当社株式に係る大量保有報告書が関東財務局長に提出されております。当該大量保有報告書において、2020年7月31日現在で同社が610,500株を保有している旨が記載されておりますが、当社として第2四半期会計期間末現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めておりません。なお、その大量保有報告書の変更報告書の内容は次の通りであります。

大量保有者	スパークス・アセット・マネジメント株式会社
住所	東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス6階
保有株券等の数	株式 610,500株
株券等保有割合	4.41%

## (6) 【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 200	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,854,700	138,547	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 2,100	-	-
発行済株式総数	13,857,000	-	-
総株主の議決権	-	138,547	-

## 【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名または名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
株式会社スタジオアタオ	兵庫県神戸市中央区御幸通8丁目1番6号	200	-	200	0.00
計	-	200	-	200	0.00

## 2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（2007年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表についてEY新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,913,143	2,653,495
売掛金	274,182	467,387
商品	487,366	462,420
その他	12,373	100,997
流動資産合計	2,687,065	3,684,301
固定資産		
有形固定資産	147,872	140,777
無形固定資産	11,364	9,414
投資その他の資産	142,441	570,294
固定資産合計	301,678	720,486
資産合計	2,988,744	4,404,787
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,059	50,144
1年内返済予定の長期借入金	114,439	273,620
未払法人税等	143,884	70,344
ポイント引当金	20,442	28,102
その他	188,018	163,337
流動負債合計	474,844	585,548
固定負債		
長期借入金	36,705	760,007
退職給付に係る負債	12,344	13,986
資産除去債務	22,449	22,473
固定負債合計	71,498	796,466
負債合計	546,342	1,382,015
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	131,205	389,136
資本剰余金	121,205	379,136
利益剰余金	2,190,328	2,254,837
自己株式	338	338
株主資本合計	2,442,401	3,022,772
純資産合計	2,442,401	3,022,772
負債純資産合計	2,988,744	4,404,787

( 2 ) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第 2 四半期連結累計期間】

( 単位 : 千円 )

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 2019年 3月 1 日 至 2019年 8月 31日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 2020年 3月 1 日 至 2020年 8月 31日)
売上高	2,407,683	1,852,318
売上原価	878,289	663,520
売上総利益	1,529,393	1,188,797
販売費及び一般管理費		
販売促進費	332,557	420,278
ポイント引当金繰入額	2,508	7,659
支払手数料	187,623	178,695
その他	468,722	375,382
販売費及び一般管理費合計	991,412	982,015
営業利益	537,981	206,782
営業外収益		
受取家賃	582	497
その他	69	83
営業外収益合計	651	580
営業外費用		
支払利息	344	2,306
営業外費用合計	344	2,306
経常利益	538,288	205,056
特別利益		
助成金収入	-	1 26,404
特別利益合計	-	26,404
特別損失		
店舗休業損失	-	2 29,597
特別損失合計	-	29,597
税金等調整前四半期純利益	538,288	201,863
法人税、住民税及び事業税	164,863	62,833
法人税等調整額	61	10,772
法人税等合計	164,925	73,606
四半期純利益	373,362	128,257
親会社株主に帰属する四半期純利益	373,362	128,257

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
四半期純利益	373,362	128,257
四半期包括利益	373,362	128,257
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373,362	128,257
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	538,288	201,863
減価償却費	14,012	12,054
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	1,355	1,642
ポイント引当金の増減額(は減少)	2,508	7,659
支払利息	344	2,306
助成金収入	-	26,404
売上債権の増減額(は増加)	198,295	193,205
たな卸資産の増減額(は増加)	129,260	24,945
仕入債務の増減額(は減少)	29,771	42,085
未払金の増減額(は減少)	44,716	1,196
その他の資産の増減額(は増加)	10,933	10,045
その他の負債の増減額(は減少)	6,417	26,630
その他	57	9
小計	485,123	35,083
利息及び配当金の受取額	8	14
利息の支払額	327	2,319
助成金の受取額	-	26,404
法人税等の支払額	129,775	133,284
営業活動によるキャッシュ・フロー	355,029	74,101
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	90,357	3,008
無形固定資産の取得による支出	1,744	-
差入保証金の差入による支出	17,123	-
その他	1,453	1,343
投資活動によるキャッシュ・フロー	110,678	4,351
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	-	1,000,000
長期借入金の返済による支出	56,327	117,517
株式の発行による収入	5,025	-
配当金の支払額	-	63,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,302	818,804
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	193,049	740,352
現金及び現金同等物の期首残高	1,394,723	1,913,143
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,587,772	2,653,495

【注記事項】

(追加情報)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2020年4月8日から店舗の臨時休業を行っていましたが、同年6月1日までに全店舗の営業を再開しております。今後も当面は外出自粛等の影響を受けると考えておりますが、需要は徐々に回復していくものと仮定しており、当該仮定を繰延税金資産の回収可能性の判断及び固定資産の減損会計の適用に係る会計上の見積りに反映しております。なお、将来における実績値に基づく結果が、これらの見積り及び仮定とは異なる可能性があります。

(四半期連結損益計算書関係)

1 助成金収入

新型コロナウイルス感染症にかかる雇用調整助成金等を計上しております。

2 店舗休業損失

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響による店舗の臨時休業期間中に発生した固定費(人件費・減価償却費等)を、店舗休業損失として特別損失に計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
現金及び預金	1,587,772千円	2,653,495千円
現金及び現金同等物	1,587,772千円	2,653,495千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日 至2019年8月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日 至2020年8月31日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年5月25日 定時株主総会	普通株式	63,748	5	2020年2月29日	2020年5月26日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

当社は、2020年5月25日開催の取締役会決議に基づき、取締役及び従業員に対する譲渡制限付株式報酬としての新株発行を行っております。この結果、当第2四半期連結累計期間において、資本金及び資本剰余金がそれぞれ257,931千円増加し、当第2四半期連結会計期間末において資本金が389,136千円、資本剰余金が379,136千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)

当社グループの事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当第2四半期連結累計期間(自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)

当社グループの事業セグメントは、ファッションブランドビジネス事業のみの単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益	29円49銭	9円79銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益 (千円)	373,362	128,257
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(千円)	373,362	128,257
普通株式の期中平均株式数(株)	12,659,671	13,103,095
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	28円96銭	9円69銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額 (千円)		
普通株式増加数(株)	232,217	137,501
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

(注) 当社は、2019年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月13日

株式会社スタジオアタオ  
取締役会 御中

EY新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 小市 裕之

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 新居 幹也

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社スタジオアタオの2020年3月1日から2021年2月28日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2020年6月1日から2020年8月31日まで）及び第2四半期連結累計期間（2020年3月1日から2020年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社スタジオアタオ及び連結子会社の2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。